



2021年12月10日

各位

会社名 株式会社 加藤製作所  
代表者 代表取締役社長 加藤公康  
(コード番号 6390)  
問合せ先 執行役員経営企画部長 川上利明  
(TEL 03-3458-1111)

### 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書提出のお知らせ

2021年11月11日にお知らせしたとおり当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所（以下、東証）の市場区分見直しに関して、プライム市場を選択する旨の申請書をすでに東証に提出しておりますが、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。「流通株式数」「流通株式比率」「売買代金」の各項目は同市場の上場維持基準を充たしている一方で、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

当社は、2027年3月までに当該市場の上場維持基準を充たすよう、各種取組を進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均売買 代金 (億円)
上場維持基準	20,000	100億円	35%	0.2億円
当社の状況	91,215	94.5億円	77.6%	0.6億円
計画書に記載の項目		○		

当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株式分布表等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題および取組内容

当社の流通株式比率は相対的に高い数値であると考えており、流通株式時価総額の引き上げには株価の向上が不可欠であると認識しております。

本資料下「ご参考」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた2020年3月期以降、厳しい業績が続いており、さらに1株あたりの配当金が減額となったことも株価低迷の大きな要因であると考えております。

一方で、株価を1株あたりの純資産で割った当社のPBRは基準とされる1倍を大きく割り込んでおり、業績と配当金を従来の水準まで戻すことができれば、プライム市場の上場維持基準に必要な株価を十分に維持できると想定しております。

上記に加え、「企業価値の向上」、「株主還元の実現」、「IRの強化」を上場維持基準の適合に向けた基本方針に据え、各施策を推進していくことで、計画期間内における基準充足に取り組んでまいります。

### 3. おもな取組内容

#### (1) 企業価値の向上

足元における建設機械の需要は一部地域で回復基調にはあるものの、当社はコロナ禍以前の業績に戻し切れていない状況が続いております。厳しい事業環境下においても安定した収益を確保するためには、経営基盤の強化と事業構造改革が不可欠であると考え、現在、全社をあげ収益力と体質改善に向けたプロジェクト（KATO Reborn Project）を推進しております。

一方で、今後さらなる成長曲線を描くため、2023年3月期を初年度とする新たな中期経営計画の策定に着手しております。併せてプライム市場に上場する企業としてコーポレートガバナンス・コードの各原則への対応についても重要な経営課題として位置づけ、企業価値向上に努めてまいります。

なお、新中期経営計画は今期内（2022年3月末）での公表を予定しております。

#### (2) 株主還元の充実

当社は、安定配当を株主還元の基本方針としておりますが、2020年3月期以降は業績の悪化もあり、1株あたりの配当金が減額した状況が続いております。まずは業績を回復させ、早期に配当金を従来水準に戻すことを当面の目標に掲げてまいります。

また、今後公表する新中期経営計画を着実に推進し、収益を確保していくことで、配当水準のさらなる引き上げを含め追加的な株主還元策についての検討を重ねてまいります。

#### (3) IRの強化

当社株式の購入需要を高めるためには上記（1）（2）に加え、株主・投資家の皆さまに当社への理解を深めていただく必要があることから、今後は当社ホームページにおける開示資料の充足に加え、経営計画や決算資料について、丁寧かつ分かりやすい説明を推進してまいります。

また、株主・投資家の皆さまとの対話を促進するとともに、頂戴したご意見については、随時報告を行い、経営に反映させてまいります。

#### 《ご参考》

2018年3月期以降の1株あたりの配当金および株価・PBRの推移（数値はすべて切り捨て）

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3
親会社株主に帰属する当期純利益	30.3億円	30.3億円	△13.2億円	△57.3億円
1株あたりの年間配当金（※1）	80円	95円	30円	10円
平均株価（※2）	3,131円	2,895円	1,866円	1,103円（※3）
PBR（※4）	0.64倍	0.58倍	0.39倍	0.25倍

※1 中間配当金と期末配当金の合計額

※2 当該年度における日々の株価終値の平均値

※3 新市場区分の判定期間である2021年4月から6月の平均株価は1,036円

※4 当該年度における期末純資産額から算出

以 上